

天体観測ドーム 今月のOPEN

18:30~21:30 まで (晴天時のみ)

3/

1日(日)・7日(土)・8日(日)・14日(土)・15日(日)

20日(金)~22日(日)・27日(金)~31日(火)

星空通信

2026年3月号

今月の惑星情報

- 3日 満月/皆既月食
- 7日 水星が内合
- 11日 下弦/木星が留
- 20日 水星が留
- 22日 海王星が合
- 25日 土星が合



水星

月初は日の入り直後の西の低空に位置するが、7日に内合となり、以後は日の出前の東の低空に位置するようになる。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しい。

金星

日の入り直後の西の空で徐々に高度を上げていく。下旬になると日の入り30分後の高度が10度を超え、目に付くようになるでしょう。明るさは-3.9等。

火星

みずがめ座の領域を東に移動。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しい。

木星

上旬はふたご座の領域を西に移動)。11日に留となり、以後は東向きの動きに転じる。留のころには、星空の中での木星の動きが止まったように見える。宵の南東から南西の空に見え、明るさは-2.4等から

土星

うお座の領域を東に移動し、25日に合となる。見かけの位置が太陽に近く観察は難しい。

★用語解説★

留…惑星が順行⇄逆行へ変わる時、地球から見た天体上で、太陽からもっとも離れる瞬間

内合…地球-内惑星-太陽と並んだ時

合…地球から見て惑星が太陽と同じ方向に来るとき

★ 皆既月食 ★

3月3日のひなまつりの日の夕方から夜にかけて、全国で皆既月食が見られる。皆既月食は、月が地球の影にすっぽり入り、月がかくれて見える現象。皆既の間、月は赤銅色(金属の赤銅のような暗い赤茶色)に見える。今回に皆既月食は早い時刻に始まり、皆既の時間が約1時間と長いので、観察に適している。肉眼のほか、双眼鏡などを使ってもよい。



☆雨天時のお問い合わせ☆コンパルホール 097-538-3700